

令和8年2月2日 16時
近畿地方整備局
福井河川国道事務所
敦賀市

国土交通省と敦賀市でスクラム除雪を実施 ～5Sで挑む雪害、Supportを実践～



- 敦賀市内は15年ぶりの記録的大雪になり、降雪状況を踏まえ自治体支援の一貫として、福井河川国道事務所と敦賀市によるスクラム除雪を行いましたのでお知らせします。
- 今冬、福井河川国道事務所では『5つのSによる雪害対策の強化』を実施しています。このうち、地域に寄りそう(Support)の取組として、自治体と連携した除雪を実施しました。
- 令和8年1月31日(土) 9:00から16:00まで行い、
国道8号敦賀市 ^{あけぼの}曙交差点から^{もとまち}元町交差点で実施しました。
- 引き続き、地域の要望を踏まえ、自治体との連携を進めてまいります。

※スクラム除雪とは

市道などの雪を隣接する直轄国道などに押し出し、一斉に運搬、排雪を実施する自治体支援の取り組み。(イメージは、別紙を参照)

- ① 市道等の雪を国道等へ押し出す
- ② ①で押し出した雪を国道等の除排雪作業と併せて積み込む
- ③ 積み込んだ雪を雪捨て場へ運搬

<取り扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、福井県政記者クラブ、敦賀記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所

副所長 ^{かとう}加藤 ^{まさき}正己

道路管理課長 ^{ささじま}笹島 ^{かずひこ}和彦

TEL: (0776) 35-2661 (代表)

敦賀市 建設部

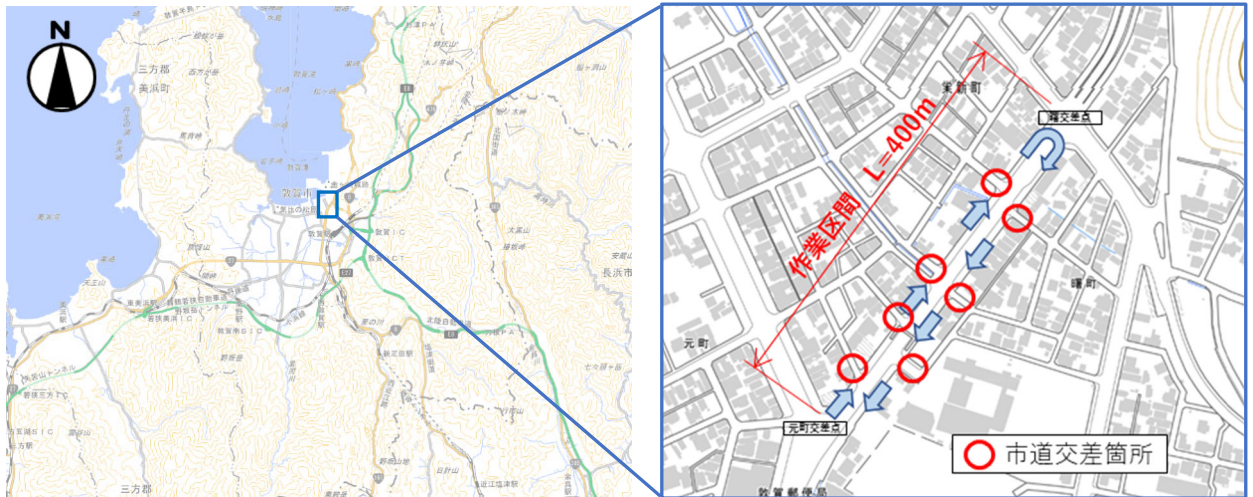
政策幹 兼 道路河川課長 ^{もりした}森下 ^{まさのり}正則

TEL: (0770) 22-1111 (代表)

国土交通省と敦賀市でスクラム除雪を実施しました

■実施日時：令和8年1月31日（土） 9：00～16：00

■実施箇所：国道8号敦賀市 曙交差点～元町交差点（L＝約400m）

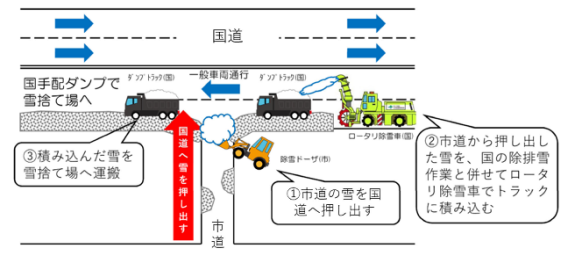


■スクラム除雪イメージ

敦賀市が雪を市道から国道8号へ押し出し、国が保有するロータリー除雪車でダンプトラックに積み込み、雪捨て場までの運搬を行います。

【スクラム除雪イメージ】

- ① 市道の雪を国道へ押し出す
- ② ①で押し出した雪を、国道の除排雪と併せて積み込み
- ③ 積み込んだ雪を雪捨て場へ運搬



■スクラム除雪実施状況



市道を除雪し国道まで排雪している状況



国道まで排雪された雪を国で運搬している状況

～新たな取り組み～ 令和7年度 福井河川国道事務所 雪害対策



R7年度
方針

5S (Search・Save・Stop・Snow-removal/melting・Support) による雪害対策の強化

	「課題」と「R6までの対応状況」	R7新たな取り組み								
Search 早く見つける	➢ 大規模滞留を防ぐためにはスタック車両の早期発見が重要 ○ 239基のカメラによる24時間監視やAI自動検知システムの導入(239基のうち57基)、死角部の遠隔監視を可能とする可搬式のAIカメラ(2台)を試行的に導入 ○ SNS(X)の危機情報を活用し、初動対応の迅速化	■ 引き続き、AI検知・可搬式カメラ・SNSでスタック車両の早期発見 ■ 可搬式カメラは本格運用、監視カメラは7基増設(合計246基) <参考> 監視カメラのカバー率 <table><tr><td>国道8号</td><td>52%</td><td>国道161号</td><td>60%</td></tr><tr><td>国道27号</td><td>37%</td><td>中部縦貫自動車道</td><td>57%</td></tr></table>	国道8号	52%	国道161号	60%	国道27号	37%	中部縦貫自動車道	57%
国道8号	52%	国道161号	60%							
国道27号	37%	中部縦貫自動車道	57%							
Save 早く救助する	➢ 大規模滞留のきっかけとなるスタック車両は、早期の救助が必要であるが、除雪車等の車両や徒歩では、発生現場への到着に時間を要する ○ 車両や徒歩でスタック現場に向かい救助	■ 直轄国道で初めて、雪道でも走行可能なキャタピラ式の防災用EVバイクを2台導入 ■ 市街地に比べ、民家や脇道等が少ない国道8号の敦賀市から南越前町間において、スタック車両の脱出を補助できるように配備 ■ バイクには、牽引ソリに「緊急脱出用チェーン」を積載								
Stop 早く止める	➢ 通行止めは、事前の積雪予測をもとに、近隣で待機し実施するが、近年の短時間強降雪によって、急遽の通行止めを実施する場合、到着が遅れ通行止めの措置に遅れが生じる可能性がある ○ 規制車両が通行止め箇所に急行し、通行止めを実施	■ 規制車両の到着を待たずに、ボタン1つでバリケードが可能なエア遮断機を導入 ■ 迂回路が少なく、市街地から遠い中部縦貫自動車道のインターチェンジ入口に設置 (福井北・松岡・永平寺参道・荒島・勝原・下山・九頭竜IC) ※ 来年度(R8年度)から遠隔操作も可能になる予定								
Snow -removal -melting 早く除融雪する	➢ 道路勾配が厳しい箇所はスタックが発生しやすいが、短時間に強降雪となった場合、限られた除雪車両では除雪作業が遅くなる可能性がある ➢ 連続した強降雪の場合は、散水でも対応困難 ○ 除雪車126台により除雪作業に対応 ○ 塩化カルシウムの散布や散水、除雪等により対応 ○ 予報を見ながら他工区からの応援	■ 過去にスタックが発生した箇所(あわら市熊坂)において、路面にロードヒーティングを整備し、熱による融雪を実施(福井の降雪特性を考慮し、轍部のみに設置し、省力化・コスト縮減を図る) <参考> 散水設備のカバー率 <table><tr><td>国道8号</td><td>35%</td><td>国道161号</td><td>87%</td></tr><tr><td>国道27号</td><td>18%</td><td>中部縦貫自動車道</td><td>19%</td></tr></table> ■ 除雪車を2台増強(合計128台)し、除雪作業を迅速化	国道8号	35%	国道161号	87%	国道27号	18%	中部縦貫自動車道	19%
国道8号	35%	国道161号	87%							
国道27号	18%	中部縦貫自動車道	19%							
Support 地域に寄りそう	➢ 冬期の通学路では、除雪が不十分で安全な歩行空間が確保されない場合があることに加え、大雪時には特に通学時間帯前までに除雪を間に合わせることが困難 ➢ 大雪後は、住民の一日も早い日常生活の回復が必要 ○ 道路管理者毎に対応	■ 道路管理者、学校関係者、自治体等による調整会議を新たに設置し、冬期の安全・安心な通学路を確保 ※ 先行実施地区として福井市(主計中地区)を選定 ■ 地域のニーズを踏まえ、自治体と連携した除雪を検討								